他方、経団連の提言は、ＤＸを「デジタル技術とデータの活用が進むことによって、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。また、その革新に向けて産業・組織・個人が大転換を図ること」と定義し、図３のように５つの要素を提示しています。[5]

この提言では、ＤＸにより企業におけるビジネスの在り方が大きな変革を迫られているとして、デジタル技術の進化に伴い、あらゆる業種においてこれまでにない新しい製品やサービス、ビジネスモデルを展開する新規参入企業が続々と登場し、旧来の大企業は会社の組織改革を含めた従来のビジネス全体を大きく変えなければ生き残ることはできないと強く主張しているのです。もちろんこのことは中小企業においても同様で、ＤＸによって、データ、ネットワーク、ＡＩ、ＩＯＴなどの技術を利用して新しいビジネスモデルの下で価値を生み出していかなければ市場から淘汰されていくことになります。

しかし、このことは容易に実現できるものではありません。ＤＸの実現に向けては、事業部門も含めたビジョンの浸透、既存システムを刷新する中長期的なＩＴシステム投資計画や、外部の人材活用、スタートアップとの協業など全社的な取り組みが必要であり、経営者が全社的な変革を実行する決断をしなければなりません。しかし、多くの企業においてこのような決断を阻んでいる課題の１つが、既存システムの存在です。これまでシステムが事業部門ごとに構築され、全社横断的なデータ活用ができなかったり、過剰なカスタマイズが行われ、システムが複雑化・ブラックボックス化していて、ＤＸが困難な状況にあります。

5 http://www.keidanren.or.jp/policy/2020/038.honbun.pdf

② Society5.0を実現するためにDXが必要

ＤＸは、現在政府が目指している「Society 5.0」の実現にとって不可分かつ不可欠のものといえます。[6] 前述の経団連の提言でも「新たな社会Society 5.0（創造社会）は『デジタル革新（ＤＸ）と多様な人々の想像力・創造力の融合によって価値創造と課題解決を図り、自ら創造していく社会』であり、「ＤＸによって明るい未来社会を創りあげていく視点が重要。」[7]との指摘があります。

そもそもSociety 5.0は、内閣府の第５期科学技術基本計画[8]において、日本が目指すべき未来社会の姿として提唱されたもので、「サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」と定義されており、社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人一人が快適で活躍できる社会」とされています（図４、５、６参照）。

他方、具体的には医療の現場でも先進技術や情報通信技術を活用して、効率的で安心・安全な医療を提供し、地域・家庭とつながる新しい医療が計画されています。名古屋大学医学部附属病院では、「スマートホスピタル構想」が始まって、図７のようにＩＣＴ技術を利用して、モノ・ヒトのトラッキングやバイタルサインを始めとした測定が常時行える基盤を整備し、医療デバイスの客観的な評価を行い、ＩＯＴを活用して、患者が地域の医療施設や自宅でも必要な医療サービスを受けられるよう医療ＩＯＴの実証研究を実施しているのです。

6 一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）「Society5.0の実現に向けたDX関連の取り組み」参照
7 https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/038.gaiyo.pdf
8 https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index5.html

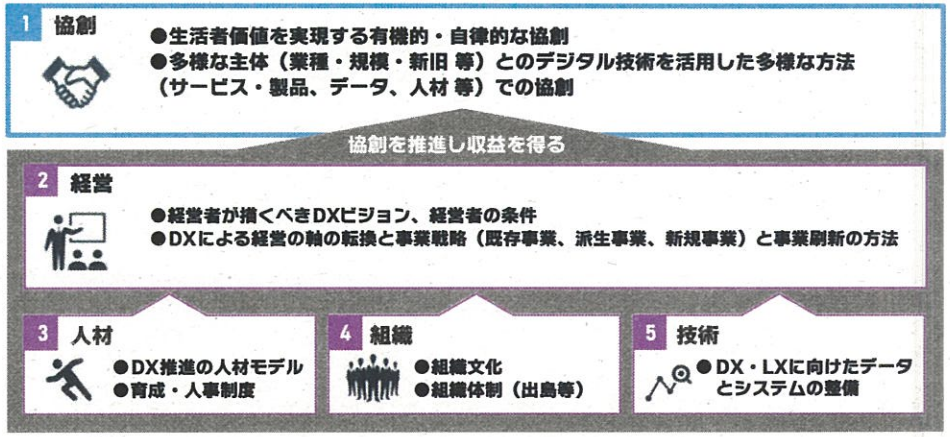

図３　企業ＤＸの５つの要素

出典：一般社団法人日本経済団体連合会 HP「週刊経団連タイムズ 2020 年 5 月 14 日 No.3452 提言「Digital Transformation（DX）を公表」をもとに作成
https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2020/0514_02.html

図４　Society 5.0 で実現する社会

出典：内閣府ＨＰ「Society 5.0」https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

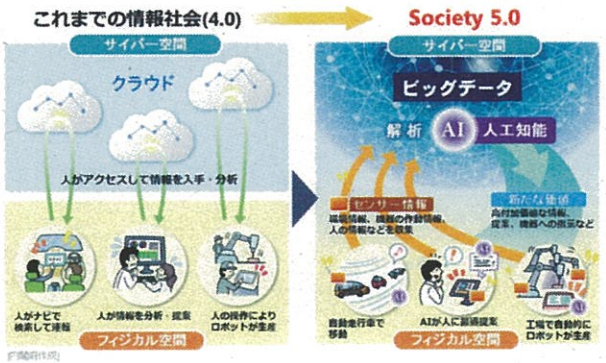

図５　Society 5.0 のしくみ

出典：内閣府ＨＰ「Society 5.0」https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

図７　名大病院スマートホスピタルとは

出典：名古屋大学医学部附属病院メディカルＩＴセンター　https://www.nu-mitc.org/smart-hospital/

経済発展	社会的課題の解決
● エネルギーの需要増加	● 温室効果ガス（GHG）排出削減
● 食料の需要増加	● 食料の増産やロスの削減
● 寿命延伸、高齢化	● 社会コストの抑制
● 国際的な競争の激化	● 持続可能な産業化
● 富の集中や地域間の不平等	● 富の再分配や地域間の格差是正

IoT、ロボット、AI等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、
格差なく、多様なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供
「Society 5.0」へ

経済発展と社会的課題の解決を両立

図６　経済発展と社会的課題の解決を両立するSociety 5.0へ

出典：内閣府ＨＰ「Society 5.0」をもとに作成
https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/